

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2012年2月20日発行 第106号 (毎月1回発行)

スケジュール(2/17~3/31)	P3
教務からのお知らせ	P4~P5
事務室からのお知らせ	P6
進路支援からのお知らせ	P7~P8
生徒支援からのお知らせ	P9~P14
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P9~P13
今月の聖句	P15

## <同封物>

特別活動のお知らせ「映画とアートを見よう！」(緑) <全員>

進路ニュース(青) <3年次>

「進学教育センター」だより(桃) <全員>

「オシテルヤ ソーシャルスクール説明会」のご案内(白) <全員>

3月16日(金)は、ホームルームです。(3月卒業生除く)

前期講座登録は、3月21日(水)~27日(火)です。

(年次別。土日は除く)

## YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。  
「教員ブログ」を始めました。本校のホームページで見ることができます。

# 今月のメッセージ



## 3.11を忘れないで・・・

まもなく東日本大震災から1年が経とうとしています。2月11日は震災から11ヶ月目とのことで各被災地での今を伝えるニュースが多く報道されました。

「復興庁」が発足し、遅れている行政レベルでの復興政策の加速化が期待されるといった報道が多くあった中で、陸前高田市の津波到達地点に桜の苗木を植樹するプロジェクトのニュースに目が留まりました。

「桜ライン311」というNPOが行っているそのプロジェクトの主旨がHPにありましたので以下抜粋いたします。

『私たちは、悔しいんです。平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、1時間以内に東北各地を津波が襲いました。陸前高田市でも多くの人が時間を止めました。その後、「実は、今回と同規模の津波が三陸沿岸を飲みこんだ記録や痕跡がありました。」との、ニュースが流れていました。10mを超える津波の可能性が、震災前から声高に叫ばれていれば！震災前の防潮堤には、限界があることを知らされていれば！

津波によって奪われた命は、もっと少なくて済んだのではないかとその思いが、今も頭を巡ります。私たちは、悔しいんです。その思いを同じくする者が集まり、「桜ライン311」を立ち上げました。次の時代が、この悔しさを繰り返すことのないように、今回の津波の到達点を桜の木でつなぎ、後世に伝えたいとおもいます。現在、瓦礫撤去が進み、津波の到達点がぼやけ始めている今、一日も早く、やりたいんです。』

ニュースでは植樹の様子が流れ、主催者の「桜が咲くのは3～4年先です。でも人々はせっかく咲いた桜を笑って見ることができないかも知れない、けれどもいつの日か笑って桜を眺める日が来ることを願って取り組んでいる」という話が印象的でした。

被災地復興のために、急いで取り組むべき課題が山積する中で、次の時代の人々のために、未来を見据えたこのような地道な取り組みがなされていることに感動を覚えました。

さて、大阪YMCAでも、昨年末に東日本大震災で被災した宮城県山元町の小学生を対象に三菱商事 YMCA フレンドシップキャンプ【六甲山のびのびスキーキャンプ】が実施されました。

時の経過とともに震災の記憶は薄れていきます。

被災地で恐れられているのは、震災の風化だといいます。刻一刻と変化する被災地の状況に合わせた様々な支援活動を覚え、3.11を忘れないことが私たちの大きな課題なのかも知れません。

まもなく東日本大震災から1年。被災されている多くの方々、特に家族を失い悲しみにあるの方々、消息が分からず不安な中にあるの方々の上に、神様の励ましと慰めがあることを心よりお祈りいたします。

## 本校の卒業要件

- 高校に3年以上在学すること。
- 74単位以上修得すること。
- 必修科目は履修認定を得ること。
- 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2011年度版 学務の手引き』より抜粋)

「希望をもって喜び、  
苦難を耐え忍び、  
たゆまず祈りなさい」

ローマの信徒への手紙 12章12節(新共同訳)

OSAKAYMCA Since 1882 2011年4月～2022年4月

# スケジュール

日	曜	行事予定など
2 月		
2/17	金	〔筆記式テスト結果・答案〕発送
2/20	月	〔学校通信〕発送
2/23	木	筆記式テストの「再テスト」(10:30~) 「再テスト課題」提出締切(17時学校必着)
2/25	土	1・2年次生保護者対象「保護者とともに進路を考える会」
2/28	火	〔課題式テスト、筆記式テストの再テスト・再テスト課題〕返送(予定)
3 月		
3/1	木	2/25~3/15の間、 特別な用事がない限り 通学はできません。
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
5	月	進路サポートスペース(10時~13時)
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	11年度後期卒業式(大阪YMCA会館)
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	特別活動:ホームルーム、12年度前期講座説明会 特別活動:進路ガイダンス
17	土	
18	日	
19	月	〔学校通信〕発送(予定)
20	火	(春分の日)
21	水	特別活動:12年度前期講座登録(担任と日時を予約、現2年次生・3年次生)
22	木	特別活動:12年度前期講座登録(担任と日時を予約、現2年次生・3年次生)
23	金	特別活動:12年度前期講座登録(担任と日時を予約、現2年次生・3年次生)
24	土	
25	日	
26	月	特別活動:12年度前期講座登録(担任と日時を予約、現1年次生)
27	火	特別活動:12年度前期講座登録(担任と日時を予約、現1年次生)
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	特別活動:街美化ボランティア(予定)

# 教務からのお知らせ

## 【「筆記式テスト」の「再テスト」・「再テスト課題」】 2月23日(木)

「筆記式テスト」で、不合格となった講座のある人には、17日(金)の「筆記式テスト結果」送付時に、個人別に速達で「再テスト受験・再テスト課題について」をお送りしています。該当者は案内にしたがい、「再テスト」の講座は、2月23日(木)10:30より受験し、「再テスト課題」の講座は、2月23日(木)17時、学校必着で課題提出してください。再テスト・再テスト課題料が1講座につき1000円必要です。該当者には、納入の案内を別途お送りします。(振込みで納入)納入されない場合は単位が認定されませんのでご注意ください。いったん納入された再テスト・再テスト課題料は、理由に関わらずお返しできませんので、ご了承ください。

## 【ホームルームと前期講座登録について】 3月16日(金) 在校生全員対象(3月卒業生を除く)

3/16(金)のホームルームで「11年度後期の成績表」をお渡しした後、次年度前期の講座登録(受講する講座の申込み)について説明し、「担任と講座登録する日時の予約」をします。ホームルームを欠席された場合は、必ず担任と連絡をとってください。

12年度前期の講座登録は、現2・3年次は、3月21日(水)・22(木)・23(金)に、現1年次は、3月26日(月)・27日(火)に、担任と予約した時間に行います。

(講座登録は特別活動1時間)

(2012年度の施設設備費を期日までに納入されない次年度の講座登録はできません。)

(P.6の「事務室からのお知らせ」参照)

ホームルームの日に、次年度前期に開講予定の講座のうち、注意を要するいくつかの講座について、講座内容を説明する会を開きます。出席は任意(希望者のみ)ですが、系列の選択講座などで不本意な登録をしないためにも、なるべく出席してください。

ホームルームと開講講座の説明会の時間は次表のとおりで、教室は当日掲示します。

(ホームルームは特別活動1時間)

時 限	時 間	ホームルームと講座の説明会
3月16日(金) 2限目および3限目	10:30~11:05	1年次生(1A 1B 1C 1L)
	11:10~11:35	次年度前期の開講講座の説明会 (特別活動にはなりません)
	11:40~12:15	2年次生(2A 2B 2C 2D 2E 2F 2L) 今期卒業しない3年次生 (3A 3B 3C 3D 3E 3F 3G 3H)

12:20~12:50に、「進路ガイダンス」を行います。(特別活動1時間)

(P.8の「進路支援からのお知らせ」参照)

### 【卒業予定者で「卒業認定の特例」申請者および卒業予定者の人へ】

3月卒業予定者で、「卒業認定の特例」の申請により、必修講座の再テスト受験、再テスト課題提出が必要な人には、17日（金）の筆記式テスト結果送付時に、個人別に通知しています。個人別の案内を見て、2月23日（木）に、必ず受験・提出をしてください。

追加講座を登録している人は、登録した講座を必ず受講し、テスト日（2月24日（金））には、必ずテストを受験するように、再度確認をしてください。

特別活動の参加時間数が不足の人は、早急に充足させてください。

（〔学校通信〕12月号・1月号および今月号の「特別活動のお知らせ」参照）

卒業予定者の特別活動の報告申請書の提出締切は、2月24日（金）17時、学校必着です。

### 【2011年度後期卒業式】 3月9日（金）

卒業式は、大阪YMCA会館（大阪市西区土佐堀1-5-6）で行います。

卒業決定者には、3月2日（金）頃、詳しい案内をお送りします。

（式場の広さの都合上、本校ではありませんのでお間違えないように願います。）

卒業生とその保護者のみが出席できます。

### 街美化ボランティア

3月31日（土） 16:00から約1時間（予定）

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。

その際、警察への届け出用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。（雨天決行）

（特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。）

# 事務室からのお知らせ

## 【新年度事務手続きについて】

新年度（2012年度）を迎えるにあたって、次年度も在籍予定の場合は、「2012年度施設設備費」の納入と生徒証明書用写真の提出が必要となります。

「2012年度施設設備費納入のご案内」と「2012年度生徒証明書」用に必要な写真の提出用紙を送付いたしましたので、期限までに必ずお手続きください。

（次年度「休学」する場合も前述の手続きが必要です。）

### 2012年度施設設備費（40,000円）の納入について

納入期限は3月16日（金）です。納入手続きがない場合、2012年度前期の講座登録ができません。また、在学の意思がないとみなし、退学になる場合があります。

なお、施設設備費の延納手続きはできませんのでご注意ください。

### 「2012年度生徒証明書」について

「2012年度生徒証明書」用写真の提出が必要です。「2012年度施設設備費」納入のご案内とともに提出用紙を送付していますので写真を貼付けて、期限までに提出してください。

（証明用・背景なし・タテ3,5cm×ヨコ2,5cm・1枚）

# 進路支援からのお知らせ

## 卒業予定の皆さんへ

### 【大学一般入試について】

私立大学の前期一般入試もほぼ終わり、まもなく国公立大学の2次試験が始まります。これから受験をむかえる皆さんは、健康に留意しつつ、全力で入試に臨んでください。

私立大学の3月入試の受験を考えている人は、志望校をめざして最後までがんばるようにしてください。3月入試までがんばって、最後に良い結果を出すケースも多いです。

すでに合格が決まっている人は、4月から大学生となります。高校での基礎学力に不安がある人は、春休み中にしっかり補うようにしておいてください。

### 【今後の大学・短大・専門学校等への出願について】

卒業の目途がほぼついて、これから大学・短大・専門学校に出願しようとする人もいます。まだ出願できる場所もありますので、できるだけ早くHR担任または進路支援部に相談するようにしてください。

### 【学校紹介での就職について】

内定まで、ねばり強く就職活動が続けることが大切です。求人票をこまめにチェックして、希望先があればHR担任または就職担当まで申し出てください。

卒業後、ハローワーク、府商工労働部、JOB カフェ OSAKA から就職支援施策等の情報提供を受けることができます。希望者は3月2日（金）までに進路支援部まで申し出てください。

なお、卒業時に未内定の場合、最寄りのハローワークに一般求職登録をしておくことをお勧めします。

すでに内定を得ている人は4月から社会人となります。そのことをじゅうぶんに自覚するようにしてください。また、就職したからといってすぐに自分の考えているような仕事ができるものではありません。与えられた仕事をひとつひとつ覚え、職場の中で力をつけていくようにしてください。仕事を続けていくこと自体が長い目で見た時にキャリアとして大切になってくると思います。

### 【最終決定進路の報告について】

卒業が確定した皆さんには、3月初めに『最終決定進路および受験結果報告書』を郵送します。用紙に必要事項を記入し、返送してください。統計上必要となりますので、進路未定の場合も必ず返送するようお願いいたします。

卒業生の皆さんにとって、Y M C A 学院高等学校は母校となります。卒業後も進路のことで何か相談ができましたら、遠慮なくお申し出ください。末筆ながら、皆さんのご健康と今後のご活躍を、心よりお祈りいたします。



## 1、2年次生の皆さんへ

### 【進路の方向を定めよう】

単位認定テストもほぼ終わり、1、2年次生の皆さんは新しい年度にむけての準備期間に入ります。特に2年次生の皆さんは、高校卒業後の進路について、本格的に考える時期にさしかかります。進学（大学・短大・専門学校）か就職（学校紹介・自己開拓・公務員）か、また進学の場合は専攻分野、就職の場合は希望職種について、ある程度の方向を出すようにしてください。

**3月の講座登録時に簡単な進路希望調査を行います。** 予定しておいてください。

なお、講座登録の際、進路のこともある程度ふまえ、必要な講座を選択するようにしてください。3月から4月にかけては、比較的自由な時間がたくさんあります。新しい年度にむけてしっかり準備をし、進路についての情報収集も進めておいてください。

### 【『保護者とともに進路を考える会（1、2年次生保護者対象）』について】

すでにご案内のように、1、2年次生の保護者の方を対象に、下記の日程で『保護者とともに進路を考える会』を行ないます。申込締切は2月23日（木）としています。また、参加を希望されない方も、アンケートを返信用封筒でご返送、またはFAXでご連絡いただければ幸いです。

日 程：2月25日（土）

時 間：2年次生 10:00～12:00 [本校309教室]

1年次生 10:30～12:30 [本校401教室]

### 【進路ガイダンスについて】

生徒の皆さんを対象に、下記の日程で『進路ガイダンス』を実施いたします。

事前の参加申込みは不要ですので、積極的に参加してください。（特別活動1時間）

日 時：3月16日（金） 12:20～12:50

場 所：2年次生および3月に卒業しない3年次生 [309教室] / 1年次生 [304教室]

### 【進路相談について】

本校では、進路相談につきましては、年間を通じてHR担任と随時行っています。ご希望の方は面談日時をHR担任と調整してください。

### 【『オープンキャンパス』に参加しよう】

進学希望者は『オープンキャンパス（学校見学会）』に積極的に参加し、自分の目で各大学・短大・専門学校の特色を確認しましょう。

**『オープンキャンパス』に参加すると特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。**

1階職員室カウンターで「参加報告書」を受け取り、必要事項を記入して提出してください。

その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

### 【3階『進路コーナー』を活用しよう】

進路（進学・就職）に関する情報は3階『進路コーナー』に掲示しています。また『進路コーナー』に置いてある情報誌や案内書、募集要項などは自由に持ち帰ることができますので活用してください。なお、進路に関する情報は1階職員室カウンターでも見ることができます。



# 生徒支援からのお知らせ

## 【次年度スタートまでの学校利用について】

先月号でもお知らせしたとおり、スクーリング終了後から次年度がスタートするまでは自習室・スポーツヤードを含めた学校施設は利用できないので、特別な用事がない限り、生徒のみなさんは来校しないようにお願いします。

「再テスト」を受験する必要がある人や「再テスト課題」の提出が必要な人は、日程をよく確認してください。(P.4の「教務からのお知らせ」参照)

3月になると、ホームルーム・次年度の講座登録などがあります。

今月号の学校通信で日程を確認しておいてください。(P.4の「教務からのお知らせ」参照)

進路相談など相談がある人は、事前に担任に連絡をとってから来校してください。

(月～金の10:30～16:00の範囲で受け付けます)

サークル活動をする人は事前の活動計画を提出し、それに従って活動してください。

## 保健室からのお知らせ

### \* インフルエンザについて

普通の風邪とインフルエンザの違い

1. 突然の高熱(38～39度)に加え、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く現れる
2. 感染力が強い
3. 肺炎の併発など、重症化することもある

予防について

1. 外出後の「手洗い」と「うがい」が一番効果的
2. マスクを着用し、人ごみはなるべく避ける
3. 加湿器などで室内の湿度を十分に保つ

3月下旬までは、流行のピークが続きます。予防接種を受けるとインフルエンザにかかってしまっても重症にはなりにくいので、医師、家族と相談の上で受けるのも良いでしょう。

症状が出始めたら、自己判断はせずに早めに医師の診察を受けましょう。

## カウンセリングスペースからのお知らせ

### カウンセリング

今年度の開室期間は終了しました。

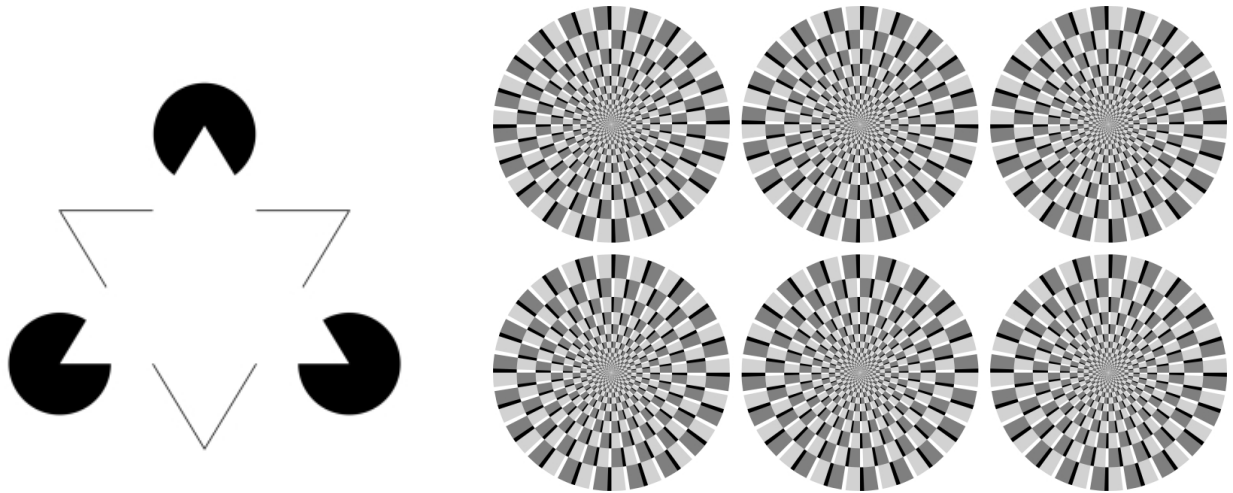
カウンセリングに関するお問合せは、保健室(後藤)までご連絡ください。

## <2011 年度後期 保健室・カウンセリングスペース便り>

<今回は、保健室とカウンセリングスペースに関わる方々に、後期終了のコメントを頂きました。>

### 「見ること・感じること」

水曜日担当 川口 彰範



1. 次の図を見てください。

左の図は、「カニツアの三角形」とよばれている図形です。真ん中に、描かれていない三角形が「ある」ように見えると思います。右側は「フレーザー・ウィルコックス錯視」という図形。動いているように見えますか？

2. 次の文章を読んでください。

こんにちは。みさなん いかが おごすし ですか？

まにいち さむい ひが づついて います。きそくだたいし せかいつ と バンラスの  
とれた しょじく で この ふゆを げんきに のきりって くさだいね。  
うがいてらあいを しっかり して、インフエルンザ を よぼう しまょう。

どうですか？ 文字の並びがデタラメなのに、意味がとれてしまいますね。さらっと読めてしまった人は、もう一度、一文字ずつよく見てみましょう（全部で15箇所間違っています）。

ないはずのものがあるように見えたり、止まっているのに動くように感じたり、デタラメな文字の並びが意味のある文章に読めたり。人の脳やこころは、ものごとをいつでも「あるがままに」見たり感じたりしているわけではないようです。でもそれは、ただの「間違い」や「勘違い」ではなくて、人が生きていく上で必要な、脳やこころの働きの一部なんですね。「本当の自分が見つからない」「何かに急かされているように感じる」「生きるの意味って何なんだろう・・・」ものごとをあるがままに見ようとすることと、自分なりに感じたり意味づけしたりすること、その2つの動きの中で、彷徨ったり、立ちどまったり。それぞれの歩みに寄り添うような営みをしていけたらいいな、と思っています。

## 「自分と向き合う方法」

金曜日担当 道嶋 公子

買いました！『人生がときめく片づけの魔法』

片づけのために片づけの本を買って本を増やすことに抵抗があったので、なかなか購入出来ず…。ところがひょんなことからヒョイっと購入。読めばなんで今まで買わなかったんだろうって思うほど面白かった

どこがどう面白かったかというところ…

### 【その1 作者は5歳の時から主婦向けの本を読み片づけの研究をしていた】

「整理整頓オタク」だった作者はそうとう変わった子どもだったと思う。でも、それが作者を片づけコンサルタントという珍しい仕事に就かせた。きっと彼女は「片づけばかりしていても将来なんの役にも立たないよ」って何度も言われたこともあると思う。でも彼女は今予約が半年先まで詰まっている片づけコンサルタント。人の未来は誰にもわからない。ましてやどんなことが将来役立つことなんてほんとには誰にもわからない。だからとりあえず興味があることをし続けられればいいんだっていうことを彼女が示してくれたように思う。

### 【その2「ときめく」という自分の感情を大事にし、片づけを行うという方法】

「2年使っていないければ捨てる」とか適正な量は何枚というマニュアルではなく、自分の感情を優先して捨てるか捨てないかを決めるということはほんとに大事だと思った。快適な空間は自分の感覚で決める、当たり前のことですが今までの片づけの本に無かった感覚。ココロのことや感情のことを大事に思っている私にはとっても受け入れ易かった。

と、言うことで、この本はなんだか心理学の本のようだった。片づけを通して自分と向き合った作者。人は自分のやり方で自分と向き合う作業をすればいいと教えてくれた本でした。

さあ～て、あなたはどんな方法で自分と向き合いますか？

## 『 ( 1 / 6 0 ) からの号泣 』

月曜日担当 石井 邦也

「学ぶことの喜び・楽しさを分かって欲しい」そんな願いがあって、それは伝えたい。だから、スクーリングに来て、授業の邪魔になるようなことはしないで欲しい…。後期の授業を終えた時、ある先生がそんな思いを述べられていました。

私自身も同感です。いろんな知識が増えることも大事ですが、どうしてそう考えるのか、どんな風にそう思えるのかといった「考え方」、「ものの見方」を自分なりに実感し、成るほどと納得できるのは勉強してゆくことの楽しみだと思えます。理科の授業では、出来る限り実物を持っていき、実際に見てもらったり、匂いなどを感じてもらったりし、また実験で示すことを心がけてきました。例えば、学校の前に<sup>くすのき</sup>楠があります。その「葉っぱの匂い」をかいでもらって、「防虫剤」として使われていることを説明したりしています。

物の動きを捉えるものとして、「速さ」があります。1秒間の動きで風速　メートルとか、1時間での動きで時速40キロ、というふうに表されています。これを実験的に知るために、「記録タイマー」という装置があります。紙テープに1秒間に60回という「はやわざ」で点を打つものです。そのテープを貼り付け「おもちゃの自動車」を走らせ実際にその速さを測ってみます。

「点」と「次の点」までは、 $(1/60)$ 秒となるので、それを6個集めると、 $(1/60)$ 秒が6個で、 $(1/60)$ 秒 $\times 6 = (6/60)$ 秒 $= (1/10)$ 秒。つまり、 $(1/10)$ 秒間の自動車の動きとなります。それでは1秒ではどうなりますか？ という問いが「レポートの問題」にあります。このあたりは、苦手な生徒さんが多いのを毎年感じてきました。覚悟して、その問いに入るのですが、今年はある生徒さんの嘆きを聞くことになりました。その生徒さんは小学校の高学年から学校に行っていません。分数自体の基本的な考え方は理解できるのですが、その計算に不慣れだったのでした。それで、さっきの問いの説明が、しっかり来なかったようでした。そして説明を聞きながら悲しくなり、心の中で『号泣』していた、としばらくしてから、伝えてくれました。「分ろうとしても、分からない悲しみ」なのでしょ。

人の痛み・苦しみはなかなか伝わりにくいものだな、と私は感じています。サークル“Bible Café”で、「障害はひとつの個性」と考えているけれど、自分の「障害」がなかなか「分かってもらえない」という感想が述べられました。聞いていた友達も、私もそう思う、と自分の体験を次々に語るのが続いたことがありました。またある生徒さんは「自分自身、自分のことをわからないことがある」と自分の思いを語りました。その場に居たメンバーは、それにも深く納得がいったようでした。

「相互理解」ということばもよく耳にしますが、「ある人が他の人を理解すること」、はとても難しいことだと思います。それは面接の場面でしばしば痛感することです。難しいとは知りながらも、それでも、自分や他者の理解を深めようと努力し、「違いを認め合いながら」、自分そして自分たちが「生きてゆく物語」を綴<sup>つづ</sup>ってゆくのではないのでしょうか、私はそう考えています。

## 「遊びながら“学ぶこと”の楽しさを知る」

保健室担当 後藤 さやか

お正月の遊びといえば、何を思い浮かべますか？ 凧揚げ、コマ回し、羽子板…。生徒のみなさんはもうほとんどしなくなっているかもしれませんね。私も、10代の後半からはそういったもので遊んだ覚えはありません。ですが、近年のお正月休みは姪がおもちゃを持って遊びに来るので、家族で遊ぶことが増えました。

今年も、「四字熟語かるた」に始まり、ポケモンの「福笑い」と「すごろく」、それに飽きると「神経衰弱」や「7ならべ」など、懐かしい遊びが満載でした。姪にとっては、まだいところがない為、父母、祖父母、叔母（私）の、大人ばかりとの遊びです。明らかな遠慮をしていると、兄から「手加減せんといてや」と言われるので、みんな加減をしつつの真剣勝負！ たとえ、姪の目の前にカードがあっても、思い切って手を伸ばします。私は、1枚のカードをタイミング良く取り合って勝ってしまった為、姪の目から涙がポロポロ…。なんと、泣かせてしまったのです。それでも兄夫婦はどちらも笑顔、「負けず嫌い上等！」と、闘争心を煽ります。勝負の世界は厳しいということも、わかってくれたら嬉しいのです。

でも、すごろくのように運が左右するゲームもあるし、大人には大人の事情、見えづらい・聞きづらい・忘れっぽい・ポケモンの正しい顔がわからない（笑）などがありますし、姪はまだ小学4年生で四字熟語の漢字が読めないで、「絵で覚える」と言いました。できないこと・苦手なことがあっても、別の方法や、得意なことで勝負することができる。そんなことも、意識しないうちに学んでくれればいい…。大人って勝手なものですね。四字熟語かるたについても、こんな難しいものでなくてもいいのでは？と思うのですが、少しでも勉強になればいいという「オヤゴコロ」なのです。

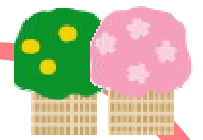
でも考え方によっては、楽しくて勉強にもなっているというのは、子どもにとっても幸せなことなのかもしれません。問題が解けて楽しかった・嬉しかった経験は、絶対に無駄にはならないし、大人になって、

学校での勉強が終わった後でも覚えていて、また経験したいと思えるのでしょうか。クロスワード、数独など、新聞や雑誌、携帯電話でもハマってしまう大人がいるのは、楽しかった経験があるからです。

確かに、四字熟語は姪だけでなく全員にとって勉強になったようで、読み方が解らなかったもの、知らなかったものなどがそれぞれにありました。私には、「不言実行」という言葉が初耳でした。読み札は「ひとりで黙々、誰にも言わずにがんばるよ」というものです（絵札に書いてあるひらがなは「ひ」です）。「有言実行」なら知っていたけれど、言わない方もあったんだと驚きでした。誰にも言わずに頑張っ、目標達成できた時に周りに気付いてもらえたなら、それはとても素敵です。

姪も大きくなって、できる事が増えてきたのを嬉しく思います。「次は百人一首をしようね」と言って、帰っていきました。子どもと一緒に成長するお正月って素敵です。

生徒のみなさんは2012年の目標を決めましたか？ 達成に向けて頑張っていますか？ 私も、「不言実行」で、頑張ろうと思います。2012年がみなさんにとって良い一年になりますように。



## 進路サポートスペース

『進路サポートスペース ( S S S )』が5月よりスタートしています。

就職、進学に関わらず自分の将来のことについて何でもいいので「おしゃべり」できるところです。

最近、進路サポートスペースを利用してくれる方が増えてきました。

興味のある人は気楽な気持ちで来てください。(予約制)

働くことに関する悩みや迷いのある人、自分らしい「生き方」や「働き方」探しを応援しています。

### \*3月の開室日時と担当者

**対 象** 生徒・保護者・卒業生

#### 実施日時・担当

10月より「進路サポートスペース」は、第1、第3月曜日の月2回実施しています。

期日 3月5日(月)

時間 10時~13時

担当 林田 明子さん(大阪府若者サポートステーションカウンセラー)

**場 所** 本校カウンセリングスペース(2階)

\* 1人50分(予約制)

\* 予約は、金子・大谷までご連絡ください。





# 今月の聖句



しゅ ひと いっぽいっぽ さだ  
「主は人の一歩一歩を定め

みむね かなう みち そな  
御旨にかなう道を備えてくださる。

ひと たお う す しゅ て  
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていて  
くださる。

わか お いま み  
若いときにも老いた今も、わたしは見えていない

しゅ したが ひと す  
主に従う人が捨てられ

しそん こ  
子孫がパンを乞うのを。」

しんきょうどうやく し へん へん  
(新共同訳：詩編 37編23～25節)

昨年みずかも自ら命を絶たった人が3万人を超こえたと伝えられています。交通事故死の数より、東日本大震災の死者の数よりも多いのに、余り話題にもならないのはどうしたことが。大震災のあと人々は人間の「絆きずな」の大切さに目覚めてきたという。どうか、わたしたちの周りまわにもいるであろう孤独な人、寂さびしい人、絶望に立たされてる人に上の聖書の詩編の言葉を伝えたい。あなたもご自身の周りまわを見渡みわたしてみてください。

(日本聖公会大阪聖愛教会 木村幸夫司祭より)

南YMCA「キリスト教」委員会

**C A R I N G**  
**Y M**  
**R E S P E C T** **H O N E S T Y**  
**C A**  
**R E S P O N S I B I L I T Y**